

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第30週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が14,282例あり、先週(10,428例)の約1.4倍となった。2022年の累積報告数は88,518例となった。1週当たりの報告数としては、先週の10,428例を超え過去最多となった。

全数報告の感染症 (30週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：梅毒2例、百日咳3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	リンパ節結核	左頸部痛
			80歳代	男	肺結核	咳
		日向	80歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
5類	梅毒	宮崎市	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
		都城	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
	百日咳	延岡	40歳代	女	—	持続する咳、呼吸苦、スタッカート
			50歳代	男	—	持続する咳、呼吸苦、スタッカート
			60歳代	女	—	持続する咳、呼吸苦、スタッカート

新型インフルエンザ等感染症 (30週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 14,282例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	6,619例	1,126	976	802	1,017	1,089	587	429	337	162	88	6	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	2,279例	306	437	194	319	355	227	160	122	98	59	2	
延岡	1,178例	189	230	141	174	185	112	69	48	21	9	—	
日南	1,024例	179	219	47	129	148	72	90	64	51	25	—	
小林	764例	147	176	40	103	136	70	50	26	10	6	—	
高鍋	1,186例	159	192	145	155	170	107	123	72	41	19	3	
高千穂	65例	9	11	2	7	11	10	8	4	2	1	—	
日向	801例	97	117	101	127	128	67	71	48	33	12	—	
中央	256例	56	37	21	30	44	19	20	15	10	4	—	
県外	110例	16	18	9	17	15	8	12	9	6	—	—	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は298人(定点当たり8.3)で、前週比90%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎及び水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

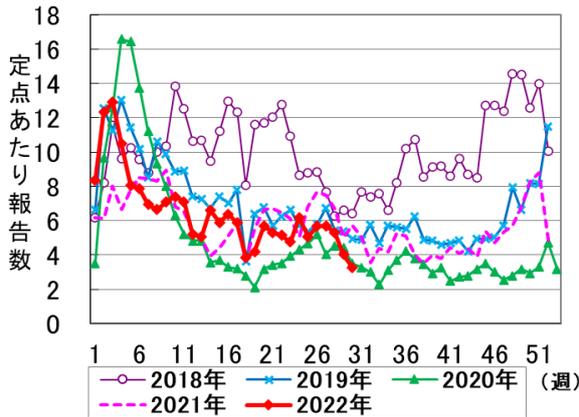
報告数は117人(3.3)で、前週比81%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(5.7)の約0.6倍であった。小林(7.3)、日向(4.8)、都城(3.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

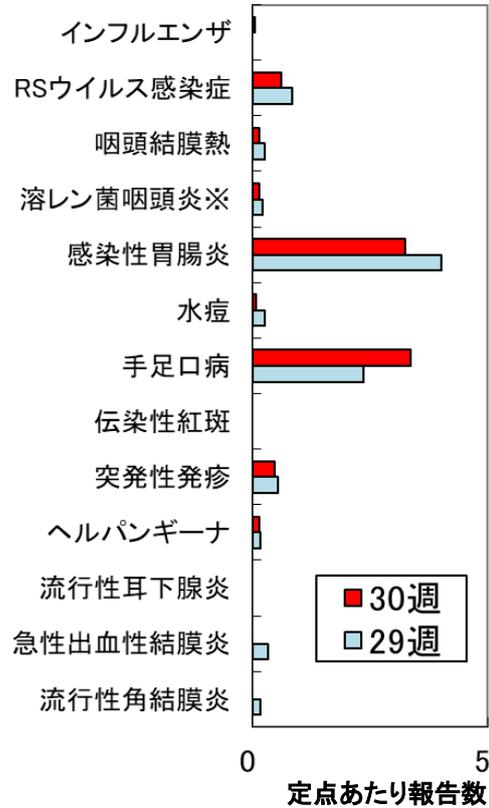
報告数は121人(3.4)で、前週比142%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(3.8)の約0.9倍であった。日南(15.0)、小林(6.7)、都城(5.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約9割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

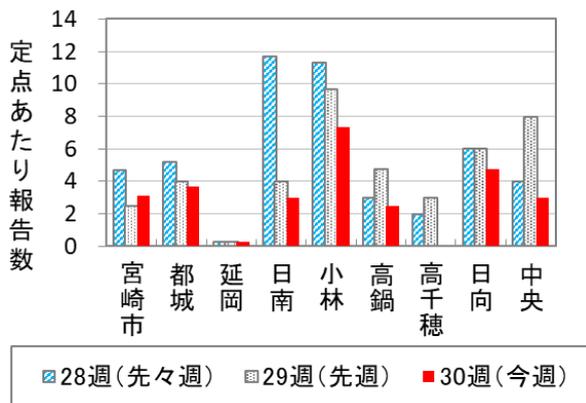
感染性胃腸炎 発生状況



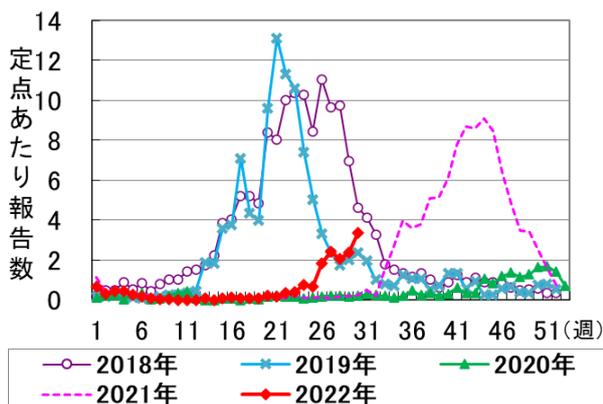
《前週との比較》



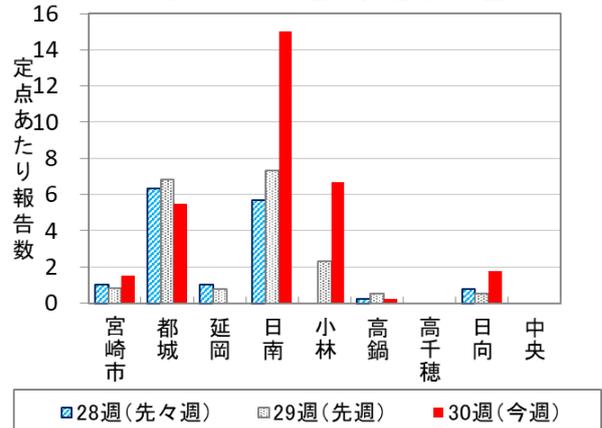
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(5.5)
延岡	なし
日南	手足口病(15.0)
小林	手足口病(6.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

流行警報レベル開始基準値

・手足口病(5)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年8月1日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Oranienburg (O7:m,t:-)	20歳代	男	2022.06.29	胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐)	便	2022.07.06
<i>Salmonella</i> Infantis(O7:r:1,5)	0~4歳	男	2022.06.30	発熱(38.0℃)、 胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐)	便	2022.07.07

○20歳代の男性から *S.*Oranienburg が分離された。*S.*Oranienburg は、2018年8月に鹿児島県内で散発事例が複数発生したことが報告されている(IASR Vol. 40 No. 5(2019. 5))。報告では、いずれも血液から分離され、重症例も多く見られている。非チフス性サルモネラ属菌の菌血症は感染症発生動向調査の対象ではないが、これまでに *S.*Oranienburg の集団食中毒事例も報告されていることから、今後も注意が必要な血清型と考えられる。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトパレコウイルス3型	0~4歳	女	2022.05.26	ウイルス感染症、乳児早期発熱、 39.6℃、高熱、易刺激性、発疹	便	2022.07.21

✚ 全国 2022 年第 29 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	179 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	102 例				
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	1 例	エキノкокクス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	3 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	31 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	17 例	急性弛緩性麻痺	1 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	6 例
	水痘(入院例)	2 例	梅毒	147 例	播種性クリプトкокクス症	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	1 例	麻しん	1 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 88%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと手足口病で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

RSウイルス感染症の報告数は7,170人(2.3)で前週比102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約1.6倍であった。三重県(12.6)、大阪府(7.3)、兵庫県(5.4)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

手足口病の報告数は6,684人(2.1)で前週比114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.8)の約0.5倍であった。新潟県(10.0)、千葉県(6.8)、埼玉県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第30週(07月25日～07月31日)

疾病名	第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3								3	
	定点当り	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
RSウイルス	報告数	30	22	11		6	1		2	2	
感染症	定点当り	0.83	0.61	1.10	0.00	1.50	0.33	0.00	0.50	0.00	0.50
咽頭結膜熱	報告数	9	5	4		1					
	定点当り	0.25	0.14	0.40	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性	報告数	8	5			1		3		1	
レンサ球菌咽頭炎	定点当り	0.22	0.14	0.00	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	145	117	31	22	1	9	22	10	19	3
	定点当り	4.03	3.25	3.10	3.67	0.25	3.00	7.33	2.50	4.75	3.00
水痘	報告数	9	3	1						2	
	定点当り	0.25	0.08	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	85	121	15	33		45	20	1	7	
	定点当り	2.36	3.36	1.50	5.50	0.00	15.00	6.67	0.25	1.75	0.00
伝染性紅斑	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	19	17	4		3	1	4	2	1	2
	定点当り	0.53	0.47	0.40	0.00	0.75	0.33	1.33	0.50	0.25	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	5	1		3	1				
	定点当り	0.17	0.14	0.10	0.00	0.75	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	2									
	定点当り	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	1									
	定点当り	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ	報告数										
肺炎	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～30週)

2類感染症	結核	69例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6例		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	3例	梅毒	43例(2)
	破傷風	4例	百日咳	11例(3)
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	88518例(14282)		

()内は今週届出分、再掲